

## 【エクアドル内政：2017年2月】

### 1. 内政

(1) 2017年2月19日エクアドル大統領及び国会議員選挙，タックス・ヘイブンに関する国民投票の実施

(詳細は別紙に記載)

(2) ペトロエクアドル汚職問題

ペトロエクアドル汚職問題で起訴されているカルロス・パレハ元炭化水素大臣が、2月3日、ツイッターにて、グラス副大臣の責任と関与を指摘。これに対しコレア大統領は同元大臣を痛烈に批判した。

### 2. 外交

(1) 第5回エクアドル・コロンビア合同閣議（2月15日）の開催

2月15日、当国グアヤス県サンボロンドン市において、コレア・エクアドル大統領及びサントス・コロンビア大統領の間での首脳会談及び第5回エクアドル・コロンビア合同閣議（注）が開催され、8つの軸及び45の事項から成る共同声明が発出された。

（注）合同閣議は、両国の間で年一回開催されているもので、今回は5回目となる。両国の大統領及び主要閣僚が出席し、両国の共同の関心分野、国境地帯の開発などについて、話し合い、進展を確認するものである。通常は、毎年11月又は12月に開催されるが、昨年は双方の都合がつかず、2月に実施が延期されたもの。

<共同声明のポイント>

以下の8つの軸に基づきに両国間の協力を強化しており、引き続き協力していることが確認された。

ア 治安・防衛

（2016年の二国間オペレーショナル計画の実施、情報交換、オペレーション連係、国境地帯の脅威やリスクに対応するための恒常的評価等）

イ インフラ・コネクティビティー

（マタヘ川国境橋の共同建設・2017年5月の開通、アンデス共同体内での電力相互接続のための規則の早期採択、エクアドルからコロンビアのリカウテ市等への電力融通開始、両国間の電力供給に関する規制の調和、両国国境地帯での無線使用のための周波数割り当て、携帯電話盗難防止のための共同対策、1000万バレル以上の原油のコロンビアからエクアドルのエスメラダスへのパイプラインを通じた輸送）

ウ 国境地帯問題

（両国間における移民問題に関する対話強化、人身売買等に関する協力強化、両国司法省間における刑務所システムの政策協調、受刑者の本国帰還に関する協力、

イピアレス市とクンバル市間の両国の登録局の協力、入国管理当局の協力、第10回難民・帰還計画二国間委員会及び第5回三者メカニズムによる難民の社会統合推進協力の評価等)

#### エ 環境

(大規模災害に備えた二国間の協力準備、災害対策におけるボランティアの関与推進、植物群・動物群の不法取引防止の協力、両国国境地帯の水質モニタリング)

#### オ 社会・文化

(スポーツ協力、相互の奨学制度推進、第三国への教科書作成・配布技術支援、労働分野の技術協力、文化省同士の国境地帯の文化情報共有、国境地帯の医療保健サービス協力)

#### カ 経済・貿易

(農水産品の相互アクセスのための検疫に関する協力、国際貨物輸送システムの導入、二国間貿易の手続簡素化促進、国境貿易及び観光客のための手続簡素化促進、コロンビア政府によるコメの自由流通の評価、エクアドルによるコロンビアの関心品目に関するセーフガードの見直姿勢への評価、など)

#### キ 国境統合二国間計画

(両国外務省間における本計画進捗への評価、2017年後半より優先度の高いプロジェクトの実施)

#### ク その他両国の共通関心事項

(エクアドル政府によるコロンビア政府・FARCの和平合意達成への祝福、エクアドル政府のコロンビア政府・ELNの和平交渉保障へのコミットメントの確認、2016年のエクアドルでの地震に関するコロンビア政府からの人道援助に対する感謝表明、コロンビア政府からの文化財返還に関するエクアドル政府の感謝表明、アンデス共同体の議長国のコロンビア政府からエクアドル政府への引き継ぎ)

### (2) コレア大統領の外遊

コレア大統領は、2月7日のハイチ新大統領就任式、その後のフランス、キューバ、アルゼンチンの大学における名誉学位授与式へ出席するため、それぞれの国を訪問し、右が任期中の最後の外遊になる旨述べた。

### (3) ロング外務大臣の外遊

16日、ロング大臣がスペインを往訪。マリア・デル・コラル・テジェス移民事務局長等と会談を行った。

### (4) キトにおけるコロンビア和平交渉

27日、19日のマカレナ地区で起きたテロ事件で中断されていたキトにおけるコ

ロンビア和平交渉について、E L N（民族解放軍）とコロンビア政府との和平交渉が「良い雰囲気」で再開された旨報道された。他方で、コロンビア政府代表は、かかるテロ行為は和平交渉の妨げとなるとして、和平交渉への進展への悪影響がある」と述べたとも報道されている。エクアドルにおけるコロンビア政府とE L Nとの対話は、2月7日に始まり、16日には進展に関する最初の発表がなされ、和平交渉に向け様々な可能性を検討するとされていた。

（了）